



明峰

令和7年10月28日

～犬塚さんから～

第15号

今回は、「小豆柳」

校長 岡野利男

「りんどう」「小菊」です。



明峰中生の朝

「うわあ、今日も半袖か！さすが、雪国で育った子は強かなあ」

『いいえ…。本当は、寒くて…。もう長袖に替えるつもりです…。』

「あららら…(笑)。」

昨日の朝、北陸での生活経験がある3年生男子生徒Aさんとの会話です。その後、2人で笑い合いました。朝の空気は冷たくても、心が温かくなる、そんなひとときでした。なんとなく憂鬱な月曜日のマイナスの気持ちも吹き飛ぶものです。

いつも思います(言っています)。中学生には不思議な力がある。中学生の笑顔は、振る舞いは、そしてさわやかな挨拶は、周りの人を、地域を、ふるさとを元気にする力がある。

私は、【明峰中校門前の坂の下】と【裏門横の階段上】とに交互に立って、朝の生徒の様子を見えています。先述の男子生徒との会話のように、朝から素敵なひとときを味わうこともしばしばです。

○ずいぶん向こうから、ニコニコ笑顔でやってくるのは1年女子Bさんです。「校長先生、お久しぶりでした。」と何日かぶりに会った私に、丁寧な一言。素敵でしょう？

○私より先に、50m以上も向こうから元気な声で、「おはようございます!!」と挨拶してくれるのは、1年男子CさんとDさんです。この2人は、4月からずっとその挨拶が変わりません。すごいことです。

○『校長先生、忘れ物しました。取りに帰ってきていいですか?』と聞いてきた1年男子Eさん。「カバンとバッグは私が預かっておくから、身軽に行きなさい。」と、その子の荷物を預かると、びっくりするほどの重さ…。これを担いで忘れ物を取りに帰ろうとする…感心な生徒がいるものです。

○お家の様子を手短に楽しく話しながら通っていくのは2年女子のFさん。「花に水を撒いていたお母さんが間違っ私にまで水かけてきたんですよ。」ほっぺを膨らませながら話す姿は本当にかわいいものです。

○2年男子のGさん。清潔な身なりにきちんとした挨拶。「いよいよ修学旅行だね、頑張ろうね」の声に、背筋を伸ばしつつ『はい。』と笑顔で答える姿に頼もしさを感じます。

○おやおや、いつも元気な素敵な挨拶をくれる3年女子Hさんに笑顔がありません。

「どうした?Hさん。あなたらしい元気がないよ。」と問いかける私に、『だって、校長先生、合唱コンクールも市内音楽会も終わってしまったんですよ…。』と、なんともかわいい返事。

まだまだ紹介したいことはあります。明峰中生には、“きょうだい”で登校してくる子供たちが何組もいるということ。お兄ちゃんと弟、お姉ちゃんと妹という組み合わせもさることながら、お兄ちゃんと妹、お姉ちゃんと弟という組み合わせも4組!!このように、数多くの素敵な場面に出会える朝は、私のお気に入りの時間です。

最後に、『さわやか三人組』『さわやか二人組』と命名した3年生男子3人組、女子2人組のとびきりの存在を紹介して、「明峰中の朝」を終わります。

挨拶の素敵な人は、それだけでもう、生きていく力を携えているようなもの。このことに関連して、今週の校長室の黒板はこうに記したところです。

一期一会

一生に一度の出会いかもしれない。だから出会えた人を、出来事を、「二度目はないかも」と大切に。広島で、山口で、福岡で、一期一会を意識する。待っている街に、人に、優しさとさわやかさをプレゼントする。第2学年の挑戦を、先輩が優しく見守り、後輩がさわやかに応援する。